

所長	所長補佐 (総括)	所長補佐兼 普及指導課長	所長補佐兼 愛護管理課長	課員
町田	見目	✓	松井	松宮 菊池 増長 野口 福井 三上

復命書

ベンガルトラによる咬傷事故があった下記の特定期動物飼養施設について立入検査を行いましたので、その結果について報告します。

令和4(2022)年1月5日

動物愛護指導センター所長 様

普及指導課 所長補佐兼普及指導課長 坂井 喜子
 係長 齋藤 優子
 愛護管理課 所長補佐兼愛護管理課長 桜井 陵行

1 調査日時 令和4(2022)年1月5日(水) 13時30分～15時20分

2 調査対象 事業所名 : 那須サファリパーク
 事業所住所 : 那須郡那須町高久乙 3523
 申請者 : 株式会社東北サファリパーク那須支店
 管理責任者 : XXXXXXXXXX
 特定動物の種類及び数 : ベンガルトラ 7頭 (飼養頭数は2頭)

3 調査内容 咬傷事故発生時の動物の管理状況等の確認

4 対応者 支配人 葛原 直人
 管理責任者 XXXXXXXXXX
 獣医師 XXXXXXXXXX

5 調査結果

(特記事項)

- ・トラの飼養施設において、檻や錠の破損等は特に確認されなかった
- ・飼育手順マニュアルは整備されていたが、今回はそれを遵守しないことによるヒューマンエラーにより発生した事故であると考えられる

【平常時のベンガルトラの飼養管理について】

- ・ 4名が肉食獣担当
- ・ 安全確認のため2名で作業に入る
- ・ 朝の作業はまず放飼場の電牧の破損等確認することから始まる
- ・ 飼育手順マニュアルに則り作業を行う

【咬傷事故発生時の状況について】

- ・ 被害に遭った従業員は3名（うち1名は肉食獣担当、うち2名は別担当）
- ・ 8時20分頃、1名（飼育員A）は扉から出てきたボルタに真っ先に襲われ、獣舎（アニマル通路前室）とキーパー通路の間の扉の手前に倒れた
- ・ 悲鳴を聞きつけ駆けつけた別の1名（飼育員B）がほうきでボルタに応戦したことから、新たな標的となりキーパー通路奥までボルタに引きずられた
- ・ その間に、連絡を受け駆けつけた1名（飼育員C）が飼育員Aを前室に引きずり出したが、自分も襲われ怪我をした
- ・ 9時15分頃獣医師が麻酔銃と吹き矢を使いキーパー通路にいたボルタに麻酔をかける
- ・ 9時30分頃飼育員Bを救出

【事故発生原因について】

被害者3名とも救急搬送されてしまっており、現場の状況、飼育員から聞き取った内容から、2日間にわたる以下のヒューマンエラーが原因と考えられる。

① 事故前日：1月4日夕方

- ・ 2名の飼育員がトラ舎を担当した
- ・ トラを放飼場からアニマル通路に入れた後、餌を置いた獣舎（寝床）に入れ、アニマル通路と獣舎（寝床）の間の扉を閉めるはずが、オスのボルタを獣舎（寝床）に入れ忘れ、さらに獣舎（寝床）にトラが入ったことの確認も怠ったものと推察される
- ・ その証拠に、事故後ボルタの獣舎（寝床）の餌が残ったまま凍結しており、アニマル通路に糞が確認されたことから、獣舎（寝床）に入れなかったボルタはアニマル通路で餌を食べられず一晩過ごしたと思われる

② 事故当日：1月5日朝

- ・ 前日と異なる2名の飼育員がトラ舎を担当した
- ・ 1名がトラ舎と対角線上に位置する放飼場入口から放飼場に入り、トラ舎前室のもう1名の飼育員に電牧の電源を入れるよう無線で依頼、その後電牧を確認する予定だった
- ・ しかし、放飼場入口の凍結により放飼場に入れなかったことから、マニュアルにはない獣舎を通して放飼場に入る方法をとることにする
- ・ 本来2名でトラ舎に入るところ、1名のみでトラ舎に入ってしまう
- ・ 1名が前室からキーパー通路に入り、獣舎（寝床）にトラがいることの確認を怠ったまま、

キーパー通路と獣舎（アニマル通路前室）の間の扉を開けたままで、獣舎（アニマル通路前室）とアニマル通路の間の扉を開けてしまった

- ・これにより、アニマル通路にいたと思われるボルタが獣舎（アニマル通路前室）を通りキーパー通路まで出てきて飼育員を襲ったものと思われる

【飼養施設の状況について】

トラの飼養施設において、檻や錠の破損等は特に確認されなかった。

6 指導事項

- ・今後飼養管理していく上で、放飼場入口の凍結などハード面での改善点について検討すると共に、再発防止に向け取組を行うこと
 - ・上記内容等について動物の愛護及び管理に関する法律第33条に基づく報告をすること
 - ・栃木県動物の愛護及び管理に関する条例第11条第1項に基づき、事故届を直ちに提出すること
- 当日（令和4年1月5日）付けで受理

なお、今回の件に関して行政処分と公表を行う可能性がある旨について説明を行った。

7 今後の予定

- ・動物の愛護及び管理に関する法律第33条に基づく報告書を徴収する

飼育手順マニュアル

1. 肉食動物

ホワイトライオン・ライオン・トラ

※点検、出入舎、清掃、補修は必ず2名で行うこと

(不測の事態が起きた場合、外部と連絡をとるため。2名でお互いに扉の閉め忘れ施錠の確認をし安全に作業するため。)

※前室の扉、動物舎に入る扉は鍵を開け中に人が入ったら必ず内側から閉めること
(獣舎から脱走してしまっても動物舎から動物を外に出さないため。)

※ワイヤーを引き扉を開ける時は少しだけ開け、どの扉を開けているか確認してから完全に扉を開ける。一度に全開にしない。(間違えても気付けるため。)

放牧

- 1) 放飼場の施設の確認、電牧の確認(破損等ないか、電流の強さを確認する)
- 2) 動物舎へ入るときは動物がキーパー通路(管理通路)に出ていないかを前室で確認し動物に声をかけてから鍵を開ける、電牧の電源を入れる
- 3) キーパー通路側の扉に鍵がかかっていることを指差し確認する
- 4) アニマル通路側の [] の扉を開け1頭ずつ放飼場の扉を開け放牧する
※ワイヤーを引き扉を開ける時は少しだけ開け、どの扉を開けているか確認してから完全に扉を開ける。一度に全開にしない。

清掃

・全頭放飼場に出している場合

- 1) 放飼場側 [] アニマル通路側 [] の扉が閉まっていることを指差し確認する
- 2) アニマル通路に入る場合は一緒に掃除している人に開けることを伝えてから扉を開ける
- 3) キーパー通路側 [] 扉を解錠し扉を開ける
- 4) 清掃・藁を敷く
- 5) キーパー通路側 [] 扉を閉め施錠する
指差し確認する
- 6) 全室に施錠されていることを指差し確認し点検表に記入する
- 7) 出入口の鍵をかける
指差し確認する

・獣舎に動物が居る場合

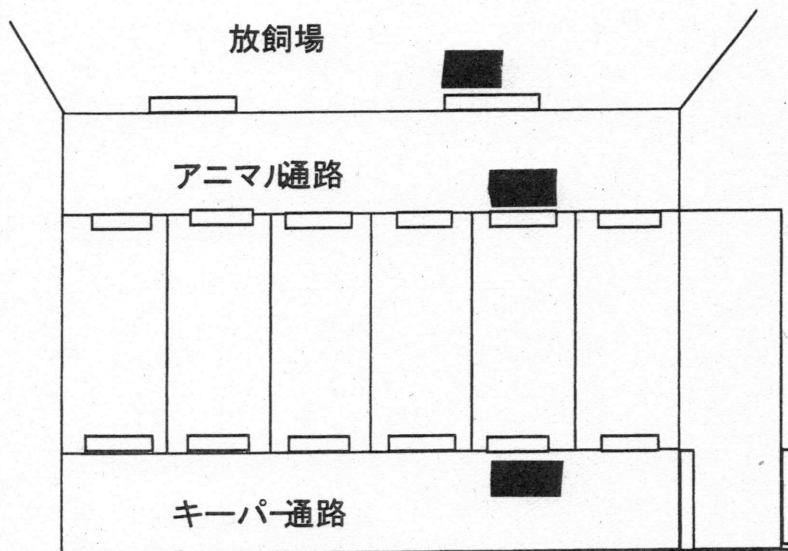
動物を移動させ動物から2枚以上扉がある状態にして清掃を行う。1枚扉になってしまふ場合には1カ所ずつ清掃し、決して動物を視界から離さず背中を向けない。不用意に動物側の柵に近付かない。檻越しに出る、手並びに爪に注意する。

- 1) 動物を移すアニマル通路または獣舎に隣接する扉が余計に開いていないか指差し確認する
- 2) 一緒に清掃している人に動物を移動させることを伝えてから移動する
- 3) キーパー通路側 [] の鍵を開け扉を開ける
- 4) 清掃・藁を敷く
- 5) キーパー通路側 [] の扉を閉め鍵をかける
指差し確認をする

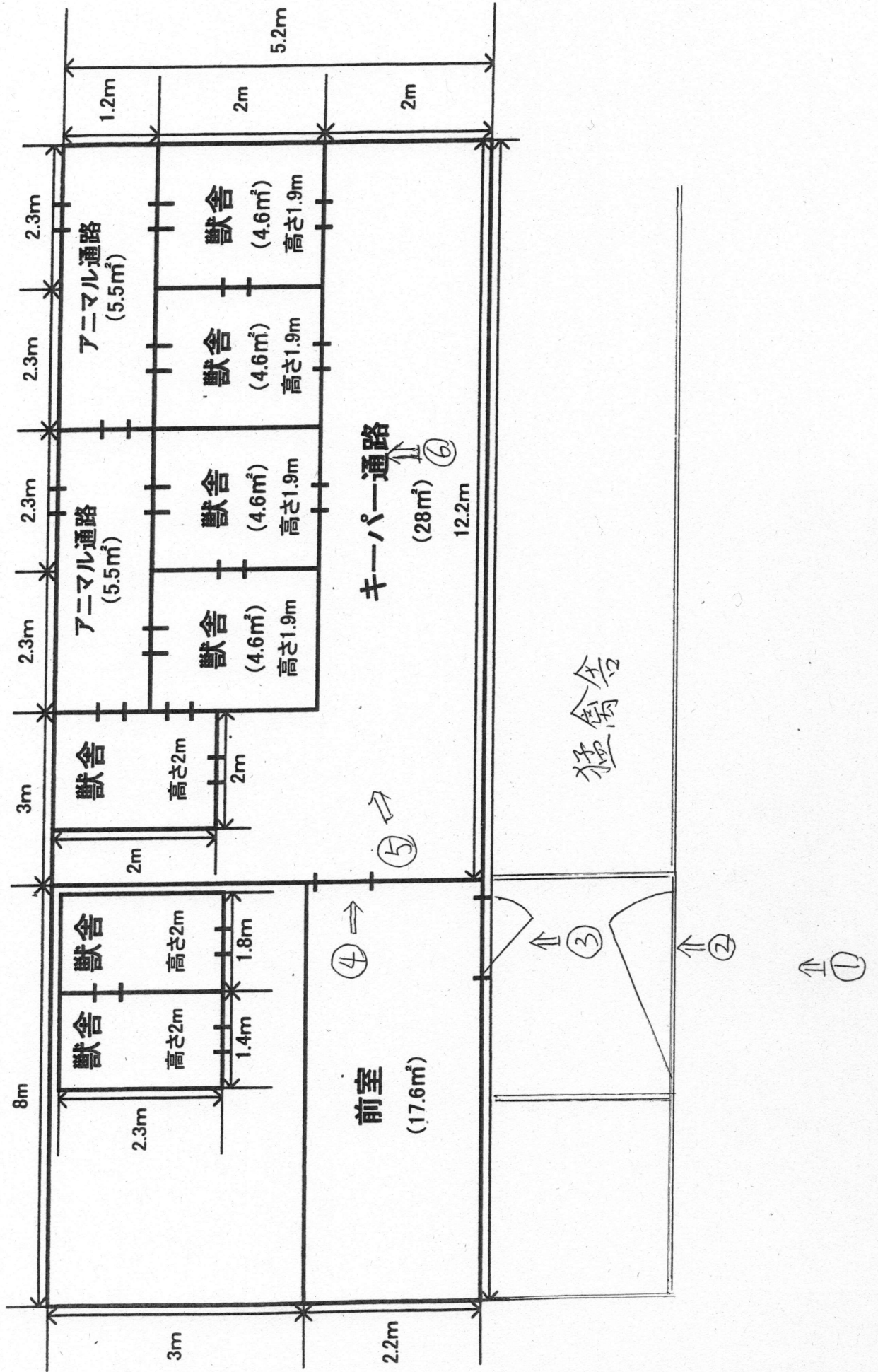
動物観察・餌作り

収容

- 1) 動物舎へ入るときは動物がキーパー通路に出ていないか前室で確認してから鍵を開ける
- 2) エサ入れ口の扉を開けエサを入れる
- 3) キーパー通路側 ■■■■ の扉の鍵がかかっているかを指さし確認
- 4) 放飼場側 ■■■■ アニマル通路側 ■■■■ の扉が余計に開いていないかを指さし確認する
- 5) アニマル通路に出ている動物を先に1頭ずつ獣舎に入れる
- 6) 放飼場側 ■■■■ の扉を開け1頭ずつアニマル通路に入れる (1頭が入ったら必ず放飼場側 ■■■■ の扉を閉める)
- 7) アニマル通路側 ■■■■ の扉を開け動物を獣舎に入れ扉を閉める
- 8) 2) 3) 5) 6) の繰り返しで1頭ずつ獣舎に入れる
- 9) 獣舎に入った動物を再度確認
- 10) 電牧の電源を切る
- 11) キーパー通路側 ■■■■ の扉の鍵がかかっているかを指さし確認
- 12) 動物舎の前室に鍵をかける
指差し確認する
- 13) 施設点検表・飼育作業日報を書き飼育主任に提出

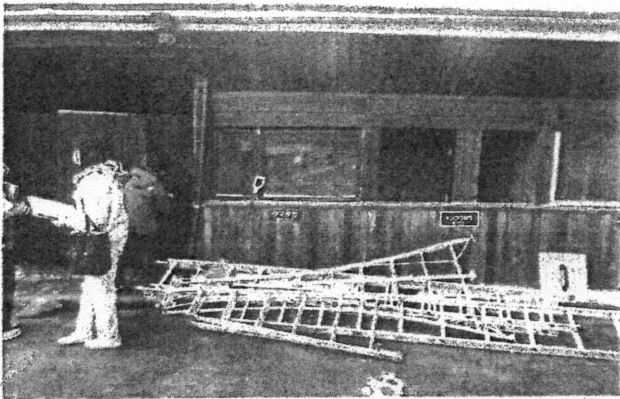


バンガルトラ舎 平面図

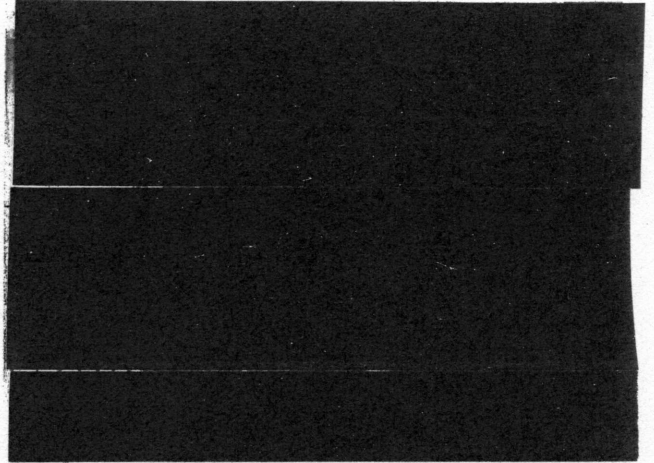


R4(2022).1.5 那須サファリパーク

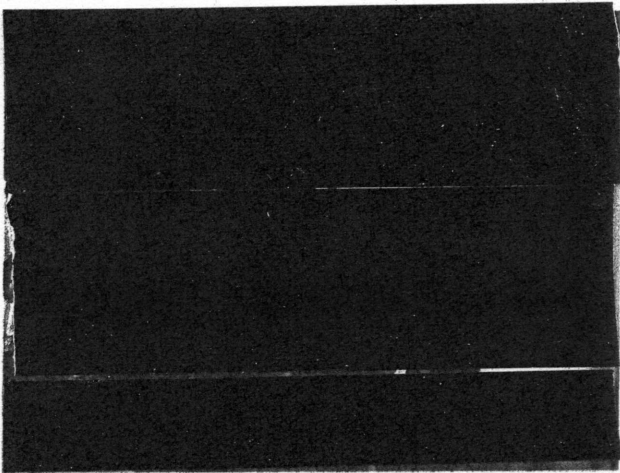
① ベンガルトラ舎



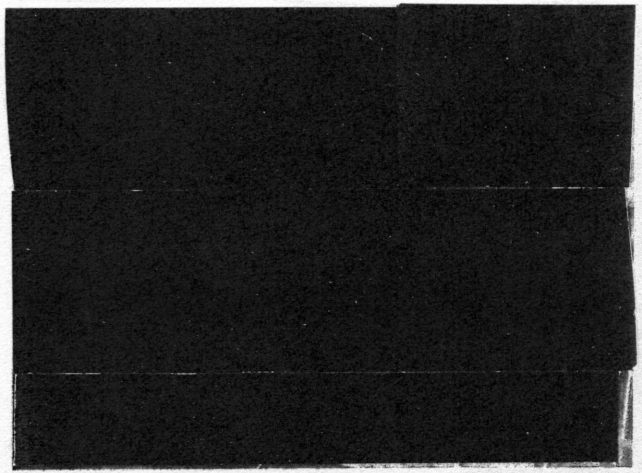
② ベンガルトラ舎入り口



③ 内扉



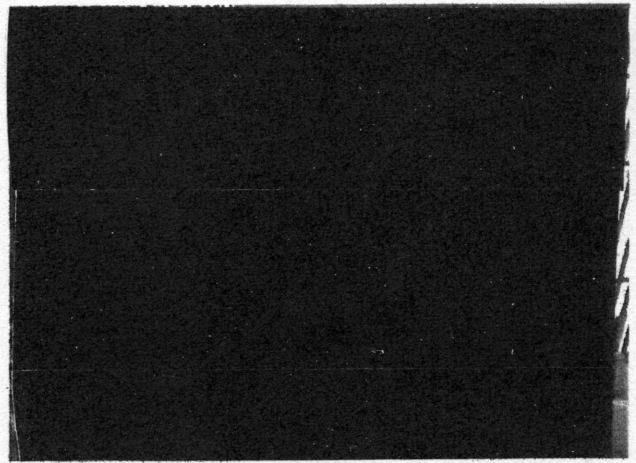
④ 前室 → キーパー通路



⑤ キーパー通路



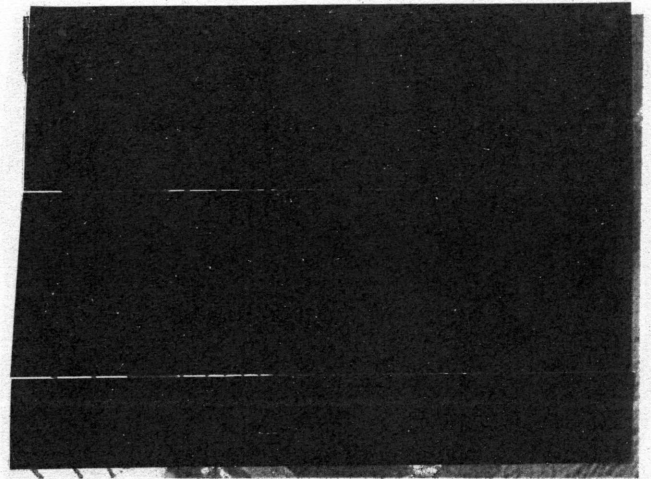
⑥ 獣舎



⑦ 観覧通路



⑧ 放飼場への入り口



那須サファリパーク 飼育部組織図

2021.12.21

